

## 平成30年度 富山第一高等学校 学校総合評価

### 今年度の重点目標に対する総合評価と次年度に向けての課題

今年度のアクションプランを改めて掲げると以下である。

1, 生徒の学力向上(教務部が担当)	評価 C
2, 教員の教科指導力向上(教務部が担当)	評価 B
3, 通学時のマナー向上(生徒指導部が担当)	評価 A
4, 生徒の主体性・実践的態度の育成(生徒会部が担当)	評価 B
5, 命を守るという意識の涵養(保健体育部が担当)	評価 A
6, 読書習慣の涵養(図書部が担当)	評価 A
7, 清掃活動を通しての協調性の育成(環境整備部が担当)	評価 B
8, 生徒の志望進路の実現支援(進学指導部が担当)	評価 B
9, 学校の情報発信(総務部が担当)	評価 A

それぞれの部署で具体的な方策を考え、年間を通しての取り組みの結果、A評価が4つ、B評価が4つ、C評価が1つであった。個々の目標の度合いについては検討する余地もあるが、全体的にはよい結果が出たと考えている。地道に身近なところから改善するよう目標を掲げ、年を追うごとに本校が生徒にとってよい環境を整えた教育現場になるよう努力していかなければならない。ただ、次年度にもつなげなければならないことであるが、学校において最も大事なことは生徒の学力向上である。上記ではアクションプラン1である。この評価がCであることについては大きな反省が必要であるといわなければならない。学習を疎かにして学校とはいわない。一つ二つの部署を以て取り組むのではなく、学校をあげて、すべての教職員が一つになって、この問題には取り組まなければならないと考える。上記のアクションプラン2また8と併せて次年度の課題としたい。

なお、本校教育の柱として、3項目を生徒に求め、指導している。「学校経営計画・学校の特色」に掲げてあるが、この3項目は本校生徒の理想像であり、その育成は次年度も学校全体で取り組みたいと考えている。殊に挨拶については、その意義を生徒に伝え、自ら挨拶ができる生徒を育てたいと考えている。

本校はこれまで「特進」「総合」「美術」という3つのコースを有していたが、次年度「S(スーパー)特進」コースを立ち上げる。難関といわれる大学への進学を志望する生徒をサポートすることを目的としている。しかしこれに限らず、多様な生徒の思いに応えるため、教職員全体で議論を重ね、その方策を作り上げていきたい。

## 今年度の重点課題(アクションプラン)

### 1 学習活動

目標	自学自習を習慣づけ、生徒全体の学力向上を図る
方策	定期考査ごとに成績不振者に対し、理解不足解消、学習への関心向上を狙い補習等を行う。その補習に教科担当者の協力も求める
達成度	定期考査後、成績不振者への補習を学年・教科担当者の協力を得て実施した
具体的な取組状況	振り返りシートを活用して日頃の学習活動を見直し、不振科目についての目標や学習計画を立てさせた。また、振り返りシートを教科担当や保護者に見てもらい、アドバイスやコメントをいただいた
評価	C
次年度への課題	定期考査の成績不振は、授業の理解不足と学習時間の不足がその要因であり、考査後に補習をしたり課題を与えるだけでは限界であるといわざるをえない。日常の授業において、生徒の興味・関心を引き出し、学習意欲や主体性の向上を図ることが必要である

### 2 教科指導

目標	教育改革（高大接続改革）に対応した教科指導力向上を図る
方策	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学入学共通テスト（2020 年開始）導入による高大接続改革の狙いと意義を教員が正確に理解そして共有し、入試制度改革に対応した教科指導を行う</li><li>・大学入学共通テストのプレテスト問題（2017・2018 年度実施）を各教科全教員がその出題傾向また出題の狙いを理解そして共有する</li></ul>
達成度	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学入学共通テスト(2020 年度開始)導入による高大接続改革の狙いと意義を理解した</li><li>・平成 29 年度の大学入学共通テストのプレテスト問題を教員が解き、各教科で問題を分析し、出題傾向を把握した</li></ul>
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究授業（11 月実施）で「主体的・対話的で深い学び」をテーマとし、生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業を実施した。研究授業後、各教科で研究・討議を行った</li><li>・地歴公民科、英語科、数学科で、県教委から指導主事を招き、研究授業と意見交換を行った</li><li>・外部講師による教員研修会（6 月実施）で、教育改革に関する情報を収集し、教員間の情報共有を図った</li><li>・金沢高等学校の教員による教員研修会（11 月実施）で、総合的学習における探究的な実践事例を学び、意見交換を行った</li></ul>

評価 B  
 次年度への課題 大学入学共通テストに対応するには、知識の習得だけではなく、知識を活用して考える力の育成が必要である。各教科において、普段から「主体的・対話的で深い学び」を意識し、自己の考えを表現させる授業を実践することが必要である。

### 3 生徒指導

目標 公共交通機関利用マナーの向上及び自転車運転ルールの徹底  
 方策 ・「高校生さわやか運動」期間中に乗車マナーの指導を行う  
 ・学年集会、「学年通信」などを通して注意を喚起する  
 ・校前指導を毎朝行う  
 ・交通安全指導の日（1日・15日）に、通学路に出向き指導を行う  
 達成度 ほぼ計画通りに指導できた  
 具体的な取組状況 ・6月22日（金）、10月29日（月）放課後に生徒指導部員が富山地方鉄道に乗車し、乗車マナー指導を実施した  
 ・各月の頭髪服装検査の日に、公共交通機関利用マナーや歩行マナー、自転車運転ルールについて指導した。また無灯火や並列走行等の危険について、動画を用いて説明した  
 ・毎朝職員朝礼後、管理職や副担任が校門前や通学路に立ち、挨拶をしながら交通安全指導を行った  
 ・毎月1日、15日の交通安全指導の日に、管理職や副担任が通学路に立ち、挨拶をしながら指導を行った  
 評価 A  
 次年度への課題 ・ルールやマナーの意味を良く理解し、自ら適切な行動が取れるようにしていきたい  
 ・さわやかな挨拶を自ら進んでできる生徒を増やしたい

### 4 生徒会活動（特別活動）

目標 望ましい集団活動を通して、主体的・実践的な態度を育成する  
 方策 ・体育大会や文化祭などの学校行事の中で生徒が役割分担をし、それぞれの個性を生かし活躍できる取り組みを行う  
 ・学校や地域の一員としてのボランティア活動などに主体的に参加し、自分らしさを発揮し貢献できるような取り組みを行う  
 達成度 委員会活動に主体的に取り組んだ。特にボランティア委員、美化委員は主体的に行動し自分らしさを発揮することができた。学校行事においても生徒会が中心になって、よりよい学校生活や人間関係を築こうとした  
 具体的な取組状況 ・新入生オリエンテーション部活動紹介の司会進行、ポスター掲示を行った

- ・地域清掃活動を生徒会役員、美化委員、ボランティア委員で調査終了日に年6回実施し、即日、HPに記事を掲載した
- ・3日間のさわやか運動を年2回、生徒会役員、校風委員で行った
- ・硬式野球部・サッカー部・ラグビー部・バレーボール部の県大会決勝戦の応援参加の呼びかけ放送、全国大会に出場する部の応援を行った
- ・オープンハイスクール、本校の入学試験、卒業式での案内係、および定期演奏会（オーバードホール）での入場券チェック係を行った
- ・文化祭でSDGs「プラスチックゴミゼロ」についての提案をステージ発表を行った。また3年生の模擬店でプラスチック容器を使わずに食品を販売するよう協力依頼をしたり、新聞の切り抜きを使ってプラスチックゴミの脅威に対する自分たちの考えを記入し、ホワイトボードに添付し、掲示した
- ・献血参加の呼びかけ放送、受付業務、呼び出し係などを行った

評価 B

- 次年度への課題
- ・文化祭で提案したSDGs「プラスチックゴミゼロ」の趣旨を生徒が理解し、次年度も協力を得られるような活動を企画し、継続したい
  - ・「総合的な学習」「総合的な探究」の課題の一つ「ボランティア活動」の活性化を図り、生徒会の地域清掃活動に加えて学年、クラス単位でボランティア清掃活動の範囲や回数を増やしたい

## 5 保健指導

- 目標 生命を尊重し、安全な学校生活を送る
- 方策
- ・1年生に救急救命講習を実施する
  - ・養護教諭が教職員を対象に、食物アレルギーの基礎知識と対応についての講習会を開催する
- 達成度
- ・救急救命講習は1学年の生徒全員が受講した
  - ・教員対象の食物アレルギー講習会を開催した
- 具体的な取組状況
- ・平成30年12月10日(月)・11日(火)・12日(水)・14日(金)の4日間、本校の1年生494名が救命講習(富山市消防署北部出張所)を受講した。欠席者7名は平成31年3月6日(水)に受講した。再度欠席した生徒は、3月18日(火)に受講した
  - ・平成30年10月12日(金)職員会議にて、教員研修「アレルギーを持つ生徒への緊急対応」を行った。保健体育部教員によるロールプレイを行い、養護教諭が緊急時の対応・エピペンの使い方解説を行った

評価 A

- 次年度へ
- ・次年度も1年生対象に救急救命講習を行う

- の課題
  - ・「応急手当」「心肺蘇生法」を保健の授業の中で生徒に教授する
  - ・次年度は緊急時の役割分担や記録の取り方に焦点をあてて、教員講習を行いたい

## 6 図書館活動

- 目標 「朝の読書」を継続的に実施し、図書館行事などを通して読書習慣の定着を図る
- 方策 学年、教科と連携、協力して学校図書館の活用を生徒に勧め、活字に親しませる（年間貸出冊数3500冊を目標とする）
- 達成度 図書の新着冊数は、約3570冊であった。
- 具体的な取組状況
  - ・「朝の読書」の実施にあたり、今年度も「学級文庫」を1・2年生の各クラスに配置し、読書環境を整えた
  - ・図書館行事として、オリエンテーション（4月）、図書委員校外研修（5月）、映写会（7月）、読書感想文コンクール（7・8月）、教養講座（9月）、読書のすすめ（11月）などを実施した
  - ・広報活動として、「図書館だより」、「図書館誌」を発行した
- 評価
  - A
- 次年度への課題
  - ・「朝の読書」に関しては、学年、コース、担任によって取り組み方に差がある。統一して取り組むには難しい面もあるが、学校全体の取り組みとして、極力、実施するように働きかけていく
  - ・図書館行事を通してだけでなく、担任や教科担当の協力を得て、「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」や普段の授業においても、図書館をもっと利用してもらうよう促す

## 7 環境教育

- 目標
  - ・清掃活動を通じて集団生活を意識し、協調性を育成する
  - ・身の回りの環境整理を通して、清潔な状態を保とうとする態度を育成する
- 方策
  - ・学校行事前に清掃活動を行う
  - ・美化委員会活動の指導
  - ・黒板クリーナー内フィルター清掃（毎月末）
  - ・清掃担当区域の清掃道具点検及び整備（4月・6月・11月）
  - ・除草（5月・10月）
- 達成度 学校行事前を中心に、学校美化に概ね取り組むことができた
- 具体的な取組状況
  - ・学校行事前に行う清掃活動を環境整備部の教員と多くの部活動の生徒の協力を得て行うことができた
  - ・美化委員活動として、清掃担当区域の自由ほうきのヘッドのゴミ取りならびに交換を行った
  - ・モップの交換を行った

評価	B
次年度への課題	・ 除草活動を行った 美化委員と共に活動することが少なかった。次年度は、美化委員と共に活動できるようにしたい

## 8 進路支援

目標	生徒に有効な情報提供を行い、進路目標実現へ向けた適切な指導を行う
方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種学校説明会や来校訪問で受けた重要事項を、校内LAN活用を含め、閲覧しやすい環境を作る</li> <li>・ 各種学校から送付されてきた資料を直接配布する</li> <li>・ 各学年の特性に応じた適切な情報を配信する <ul style="list-style-type: none"> <li>1年：2年次に選択する文系・理系の情報</li> <li>2年：進学分野や学部・学科内容を理解するための情報</li> <li>3年：志望校をできるだけ早く決定できるような情報</li> </ul> </li> <li>・ 生徒の進路志望調査をもとに、複数の教員が共通理解を持ち進路実現につながる指導を行う</li> </ul>
達成度	必要な情報をタイミングよく提供できた
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内LANを活用することで、各種学校の情報が全体に行き渡り、各担任が必要な情報を各自で取り出せることができた</li> <li>・ 各学年との共通理解を深めるために、各学年の進学指導部担当者を中心にコミュニケーションを密にした</li> <li>・ 各種学校説明会や来校訪問で得た情報を各担任（主に3学年）に伝え、情報共有することができた</li> <li>・ 全体保護者会、個別懇談会の際に各学年に応じた情報を提供することができた</li> </ul>
評価	B
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各担任へ提供できた情報が、実際にどの程度生徒たちの進路指導に活かされ、役立ったのかが不明瞭である。今後は積極的に各担任・生徒の意見に耳を傾け、改善していく必要がある</li> <li>・ 生徒の進路志望は多様化し、ひとりひとりのニーズに合った情報提供は難しい。前年度の入試結果をもとに、次年度に活かされるための情報処理の引き継ぎや申し送りを徹底する必要がある</li> <li>・ 情報過多になる傾向があるので、整理・処理の方法も検討したい</li> </ul>

## 9 情報発信

目標	ホームページとメールで教育活動の情報を適切に発信する仕組みを充実させる
----	-------------------------------------

方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験入学、部活動体験会、学校説明会などの情報を発信する</li> <li>・ 中学校や受験生に本校の入試情報を提供し、理解を得る</li> <li>・ 写真やコメントを通じて学校生活、海外研修などの学校行事を紹介する</li> <li>・ 部活動の情報をリアルタイムで紹介する</li> <li>・ 天候不順などの緊急時において、学校の対応を即時に伝達する</li> <li>・ 近隣の不審者情報を発信する</li> </ul>
達成度	全体を通じて、概ね遂行することができた
具体的な 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生向け情報の発信を行った</li> <li>オープンハイスクール、学校説明会、学校説明会、入試などの情報発信</li> <li>・ 本校生徒向けメール発信を行った</li> </ul>
評価	A
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創校60周年を迎えるにあたり、中学生や地域への一層の情報発信をリアルタイム、且つ、スピーディーに行うよう心がける</li> <li>・ 本校生徒や保護者への正確な情報発信を実現させる</li> </ul>